３年　技術・家庭（家庭分野）　週０．５時間

１　教科の目標　（学習のねらい、身に付けたい力）

○家族・家庭子どもの成長では、人の成長と家族の関わりに関心をもち、子どもが育つ環境について考えるとともに、幼児の心身の発達について学習し、幼児の生活の生活に役立つ物作りを行います。また家族や地域の働きを知り、家族関係をよりよくする方法や、地域の人々との協力について考え、広い視野をもって生活していく事を目指します。

○消費生活と環境の学習では、日常生活の中での消費と、それが環境に与える影響を考え、適切な物資やサービスの選択や購入ができることを目指します。

２　年間学習計画と単元（題材）

学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標（ねらい）
1	5	家族・家庭子どもの成長	・幼児期とは	・幼児の発達と生活に関心をもつ。
		幼児の心身の発達	・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達	・幼児の体の発達の特徴を知る。 ・幼児の心の発達の特徴を知る。
	6 7	幼児の生活と遊び	・幼児の遊びと発達	・幼児の遊びの意義や特徴を理解する。
			・幼児の遊びを支える	・幼児にとっての遊び道具の役割や遊ぶ環境を考える。
	9		・幼児の遊び道具の製作（フエルトおもちゃ）	・玩具の製作を通して幼児への理解を深める。
2	１０	子どもと家族	・子どもの成長と地域 ・子どもの成長と家族の役割	・幼児の生活の特徴を知り、家族の役割を理解する。 ・子どもの成長と地域との関わりを理解する
	１１	わたしたちと家族	・家庭の役割	・家庭での活動を考え、家庭にはさまざまなはたらきがあることを理解する。
	１２	家庭と地域	・家庭生活を支える仕事 ・わたしたちの家庭生活と地域	・自分や家族の生活は家庭の内外での活動にささえられていることに気付く。 ・家庭生活と地域とのかかわりを理解する。
			・幼児の食生活	・幼児に適したおやつの調理実習をし、幼児の栄養について理解する。
3	1 2	家庭生活と消費 商品の購入と選択	・生活に必要な物の流れ ・商品購入のプロセス ・消費生活の活用 ・商品の価格	・消費生活のしくみが分かる。 ・商品購入のプロセスが分かる。 ・商品の表示やマークの内容が分かる。 ・価格の決まり方が分かる。
	3	よりよい消費生活のために	・販売方法と支払い方法 ・消費生活のトラブル防止 ・消費者の権利と責任 ・消費者を支えるしくみ	・販売方法と支払い方法、契約が分かる ・消費生活のトラブルと解決方法が分かる。 ・消費者の権利と責任を理解する。 ・消費生活のトラブルと解決方法が分かる。
		環境に配慮した生活	・環境への影響を考える ・エネルギーの消費 ・節水と生活排水 ・環境を考えた消費生活	・消費生活と環境との関わりを知る。 ・エネルギーの削減方法が分かる。 ・水の節約や排水の浄化の方法が分かる。 ・環境に配慮した商品の選択ができる。

3　評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・学習内容を理解している。 ・食生活に関わる知識をもっている。 ・幼児・家庭・地域の宿題の資料の収集ができ、ワークシートにまとめることができる。 ・作品の製作において、計画に従って安全に留意し効率よく進めることができる。 ・技能テストにおいて指示通りに丁寧に縫うことができる。 ・作品の用途を考え丈夫で美しく作ることができる。 ・作品の発表において分かりやすく伝えることができる ・定期テストの技能の問題に答えられる。	・定期テスト （知識の問題） ・宿題の内容 ・作業の進度 ・技能テスト ・作品の完成度 ・発表の評価 ・定期テスト（技能の問題）
思考・判断・表現	・ワークシートに学習したことを生かして生活の工夫を記述することができる。 ・幼児・家庭・地域の宿題に課題をもって取り組みワークシートに自分の考えや生活の工夫を記入できる。 ・幼児向きの玩具の製作に向けて、用途を考えたデザインを考え、工夫して作ることができる。 ・作品製作を振り返り、今後の生活に生かそうとしている。 ・定期テストの思考・判断・表現の問題に答えられる。	・ワークシートの意見記述と宿題の内容 ・デザイン画と作品への工夫 ・ワークシート ・定期テスト（思考・判断・表現の問題）
主体的に学習に取り組む態度	・ワークシートに学習した内容を記入している。 ・教科書、裁縫道具などの忘れ物が無い。 ・宿題などの提出物を期日に出している。 ・授業（実習）に意欲的に取り組んでいる。 ・定期テストの生活への関心の問題に答えられる。	・ワークシートの記入 ・忘れ物、宿題等提出物 ・授業への取り組み ・授業態度

4　授業の取り組みについてのアドバイス

・教科書、裁縫道具、宿題の提出などの忘れ物をしない。
・授業に集中して、ワークシートの記入をするとともに、必要なことはメモを取る。
・作品の製作時間が限られているので、効率よく計画的に作品作りを進める。
・ワークシートは、順番通り指示された通りに台紙に貼って保管する。

5　家庭学習の進め方についてのアドバイス

・家庭生活における仕事に積極的に取り組み、基礎的な技能や知識を身に付ける。
・実習や技能テストの前には、予習として家庭において練習してくるとよい。
・日頃から家族や幼児について関心をもって新聞やテレビなどで情報を得るように心掛ける。

6　定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

・テスト範囲のワークシートを活用し、重要な言葉や数字を書き出したり、蛍光ペンなどでマークしたりして覚える。

7　苦手な人の取り組みについてのアドバイス

家庭分野では、将来できるだけ他の人の指示や世話を受けないで、一人立ちできるようになるとともに、他の人たちと支え合って生活できるようになることを目指しています。そのために家庭生活においても、衣・食・住などの家庭での仕事のお手伝いなどを積極的に行い、家族の一員としての役割を果たしていきましょう。また、支え合いの視点から、地域や社会、自然などの環境も考えながら生活することも大切です。視野を広くもち、本や新聞、テレビなどからさまざまな生活に関する情報を積極的に得るように心掛けていきましょう。